

第6回みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会 in 宮古

北海道開発局港湾空港部 港湾計画課 島谷 奈緒美

9月シルバーウィークの初日2日間、9月19日(土)～20日(日)に、岩手県宮古市で「第6回みなとオアシスSea 級グルメ全国大会」が開催されました。

宮古港開港400周年を記念して開催された今大会は、臨港通りにある道の駅「シートピアなあと」を舞台に、2日間で延べ2万5千人が来場し、全国各地のSea 級グルメを堪能しました。

北は北海道の紋別から南は広島県の瀬戸田まで16店舗が出店し、北海道みなとオアシスからも、昨年に続き2回目の出店となる「みなとオアシスもんべつ」が昨年同大会で優秀賞を受賞した「ホタテみそ焼きうどん」(1000食用意)、第1回開催から毎年出店をしている「みなとオアシス苫小牧」が地元グルメの代表「ほっきカレー」(700食用意)、平成30年の宮古-室蘭フェリー航路の就航決定を記念して、一昨年に続いて2回目の出店となった「みなとオアシス室蘭」が、

新たな地元グルメとして注目を浴びている「ヤヤンコンブうどん」(500食用意)を出店しました。

初日は朝からあいにくの雨模様でしたが、お昼過ぎから徐々に晴れ、それに伴い会場は多くの来場者で賑わい、あっという間に初日は終了。2日目は朝から快晴、またステージイベントも充実していたことから、たくさんの家族連れが朝早くから来場し、各店舗に行列ができたため、開会時刻を15分早めて9時45分から販売を開始しました。

大会では、来場者が購入したSea 級グルメに付いてきた投票券を「おいしい!」と思ったメニューに投票し、その得票数で出品メニューの順位が競われました。その結果、優勝は地元「みなとオアシスみやこ」の「真崎焼き(タコの代わりに地元産ワカメを入れたたこ焼きのようなもの)」、準優勝も同じく「みなとオアシスみやこ」の「サーモンスティック(サーモンをフライドポテトのように細長く切ってあげたもの)」となり、北海道みなとオアシスはいずれも「サーモンくん・みやこちゃん賞」を受賞しました。

今回は直前の台風の影響で、食材とスタッフを乗せた往路の苫小牧港～八戸港フェリーが急遽青森港に入港するなど、想定外のハプニングもありましたが、イベントでは天気にも恵まれ、北海道みなとオアシスの3店舗とも完売という嬉しい結果になりました。

来年も今大会の開催が決定していることから、今後も引き続き関係者と協力し、北海道みなとオアシスとSea 級グルメのPRを図って参ります。

参加された関係者の皆様、2日間大変ご苦労様でした。



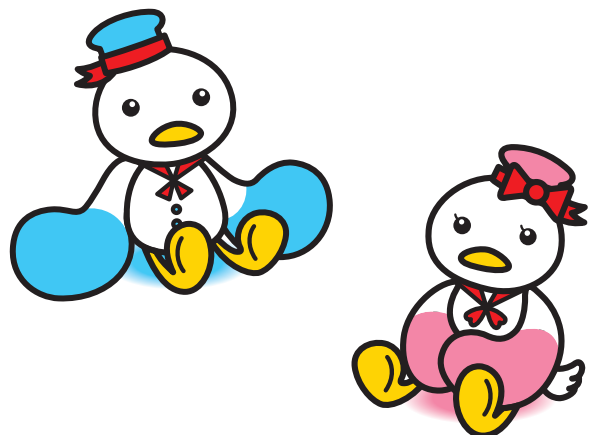
もんべつ
ホタテみそ焼きうどん



苫小牧
ほっきカレー



室蘭
ヤヤンコンブうどん





みなとオアシスもんべつのブース



みなとオアシス苦小牧のブース



みなとオアシス室蘭のブース



ステージイベント



表彰を受けるみなとオアシスもんべつ
の竹内代表

